

地区別市政懇談会 当日質疑応答要旨一覧 東地区
平成30年10月18日(木) 東公民館

第一部 地域まちづくりについて

		当日の回答		回答者
		説明項目/質問・要望等内容		
	テーマ説明	<p>① 市道5号線舗装工事（歩道）</p> <p>② 市道5号線植栽帯の維持管理（東公民館～金目川橋）</p>	<p>① 東小中学校の通学路にもなっている市道5号線は、歩道のアスファルトが経年劣化により小石が突出し、転倒してケガをした人もいますので整備して欲しいと、昨年度の地区懇談会でも要望が出ていた。今年度は、東公民館前の交差点から西側方面に約420mの区間の歩道整備に着手した。しかし整備の必要な区間はまだまだ続くので、来年度も引き続き予算要求をし、早期の通学路の安全確保に努める。</p> <p>② 現在市内の植樹帯の維持管理については、交通量の多い市道23号線、日立の前、秦野さくらみちの通りを除き、概ね年1回の除草と低木の刈り込みをシルババー人材センターに業務委託しており、当該箇所での作業を10月12日に終了した。年1回の作業では1年を通してきれいな状態を保つことはできないが、限られた予算の中で維持管理を行っているため、年2回に増やすことは難しいことをご理解いただきたい。なお、樹木等で通行に支障がある場合は、建設管理にご連絡いただきたい。</p>	建設管理課長
		<p>市道5号線歩道改修工事に予算を付けてもらい、事故無く工事が終了したことにお礼を言いたい。子どもたちや高齢者も大変喜んでいて、今年度実施された工事は、全体の約何割に当たるのか。</p>	<p>東小中学校から市道5号線、クボテック前の交差点までの約1.8kmの区間の改修が必要と考えているので、今年度行われた約420mは、約25%に当たる。</p>	建設管理課長
	1	<p>8月17日に担当から「7、8割は予算が付いたので、9月の中旬に協議ができる」と連絡があった。東田原地区では、東公民館から谷戸入口の約50m先までの区間を要望していたので、金剛寺入口あるいは交番付近まで行われるかと思っていたが、工事が終わってみたら予想より短かった。今の回答の53号線がどこか分からないが、市が予定している区間と我々が要望した区間は一致しているのか。</p>	<p>市としては、市道5号線、クボテック前交差点まで歩道舗装の打ち替えが必要と考えており、そこまでは舗装の打ち替えをしたいと考えている。</p>	建設管理課長
			<p>【要望】</p>	

(1) 東田原地区インフラ整備について

当日の回答		回答者
(1) 東田原地区に整備しているインフラ	2 公民館南側の植栽帯は、それほど広くない歩道に公民館があるから作ったようなもので、非常に管理が悪い。小中学生が通学で多く通るのに、見苦しい状態が放置されている。10月初めに手入れがされ今はきれいだが、これは地区懇談会があるからと理解している。管理費が無いのであれば、知恵を絞って他の方法を考えて欲しい。	
(2) 防犯カメラの設置要望	2 「カメラの捜査頻度や市内の犯罪発生箇所を精査し」との説明があったが、犯罪抑止効果も大きいと思う。その観点から、象ヶ谷戸、前原、八幡の3自治会では、東公民館付近に設置を要望しようとして以前から話し合っている。犯罪的な面だけでなく、交通量の多いこの付近では無謀な運転も見られるので、よろしくお願いたい。	くらし安全課長
(3) 下宿・井之城地区に児童公園の設置要望	3 「カメラの捜査頻度や市内の犯罪発生箇所を精査し」との説明があったが、犯罪抑止効果も大きいと思う。その観点から、象ヶ谷戸、前原、八幡の3自治会では、東公民館付近に設置を要望しようとして以前から話し合っている。犯罪的な面だけでなく、交通量の多いこの付近では無謀な運転も見られるので、よろしくお願いたい。	くらし安全課長
	【要望】 本市では、平成27年度から、防犯カメラ整備プログラムに基づき神奈川県警や地域の皆様と協議の上、防犯カメラの効率的な設置に努め、当初計画を前倒しし平成29年度末で121か所200台、平成30年7月末で122か所204台の防犯カメラの設置を終了した。今後の防犯カメラの設置については、警察関係からの捜査照会頻度や市内の犯罪発生状況等を勘案し、今後の増設や設置変更等の有効性を検討する。引き続き警察や関係団体と連携して運用していきたい。	くらし安全課長
	【要望】 本市ではこれまで、公園や広場のうち、遊具があつたり走り回って子どもが遊ぶことができる身近な公園の整備は、土地区画整理事業や民間開発等による提供公園、公共施設跡地の再活用、地権者からの土地の寄付等により進めてきた。今後も、公園設置のタイミングを逃さないよう、開発等の動向に注視していく。	都市政策課課長代理
	【要望】 子ども育成課が所管する子ども広場の設置については、個人所有の利用されていない土地を、自治会からの要望により市が子ども広場として認定している。設置基準は、子ども会等を始めとして、子ども連の利用が見込める、おおむね300㎡以上で、5年以上安定して利用できる土地であること。土地を無償で借り受けで日常維持管理等を自治会で行える場合は、現状調査等をした上で設置の検討をしたい。	子ども育成課長

説明項目/質問・要望等内容		当日の回答		回答者
(3) 下宿・井之池城地区に見 置公園の設置要望	4 空き地の活用も考えられると思うが、地権者の情報を市から提供してもらったり、地権者に対して市から設置交渉してもらったことは可能か		空き地については、今日は担当が来ていないので、よくお話を聞き、状況を何らかの形でお知らせする。	市長
			個人情報には慎重に扱う必要があるため、情報提供は個別に判断したい。具体的な候補地が見つかった段階で相談してほしい。	(後日回答) 都市政策課 こども育成課
	テーマ説明		市道225号線は、4月から名称が市道名古木36号線になった。費用をかけずに効果が得られる安全対策として、平成23、24年にイメージ歩道(緑色のカラー舗装)の整備を行い、平日朝の通学時間帯に246号からの車両進入規制を実施している。また、平成28年度には、沿線の一部地権者の協力で、車両のすれ違いができる待避所の整備を行った。 この道路を拡幅整備するには、建物に対する影響や、一部の区間では道路との高低差が5m以上あり大規模な工事が必要なことから、多くの費用と時間を要することとなり実施が困難。また、道路を広げること不要な通過交通を誘導したり、交通規制の再検討が必要になる可能性がある。一概に広げることが良いとは思われないので、ご理解いただきたい。	道路整備課長
	5	グリーンベルトや待避所(2か所)の設置で、安全確保について少しは前進したと思う。しかし現状では、例えば東地区から伊勢原方面に行く場合、県道70号線から上原信号を左折し、道場から名古木36号線を使い日立の所で国道246に出る人が殆どで、県道でそのまま名古木交差点に出る人は少ないと思う。また休日には、国道246号の渋滞迂回路としてナビに誘導された車で非常に混雑している。 今回できた待避所のところは、カーブで竹藪があり、幅が4mしかないのですれ違ったり車が塞ぎ合ってしまう、歩行者が巻き込まれたら重大な事故になる懸念がある。そこで、竹藪のところを大きなカーブミラーを設置したり、竹藪をあとと約50cm後退して簡易なブロッックとフェンスを設置すれば、より安全になると思うのでお願いしたい。	先ほどの説明の通り、道路を広げる大規模な工事は、現状では難しいので、その中でできる安全対策を、今の提案も含めて現地でもう一度検討し、実施したい。 なお、道路拡幅工事は道路整備課の担当だが、安全対策は建設管理課が対応することになる。	道路整備課長

		当日の回答		回答者
		説明項目/質問・要望等内容		
(4)	市道225号線の交通安全確保について	6	<p>6年前に竹藪付近の拡幅を要望した際、「高低差5m以上の部分の工事費用が1億5千万円かかるのでできない」との回答だった。一度でできなければ数年に分けて工事することはできないか。</p> <p>回答の「なかなか」というのは、「できない」ということか。</p> <p>例えば、まず準備費用として予算に入れてもらうようなことも、できないのか。</p>	道路整備課長
		7	<p>グリーンベルトが設置されているが、その上を車が通っており全然効果が無い。東田原の歩道のようにライトの設置や、ガードレール等も歩行者を守る対策を取って欲しい。</p>	建設部長
			<p>【要望】</p>	
(5)	防災行政無線連絡が聞こえない		<p>現在市内には115基の防災行政無線の屋外子局があり、市内全域で整備が完了している状況だが、天候や住宅の気密性により、「聞こえない」または「聞こえづらい」との声が届いている。そのため、補完する方法として、放送内容を聞くことのできるテレビフォンサービス、文字で確認できる登録制の「緊急情報メール」、テレビで放送内容が確認できる「tvkテレビ神奈川のデータ放送」、その他「危機管理ツイッター」や「市ホームページ」等、屋内でも確認できる情報伝達手段の多様化を図っている。しかし、災害時に市民への迅速かつ正確な情報提供は非常に重要なことなので、「聞こえない」場所の情報提供をいただき、現地確認の上対応方法について検討していきたい。</p> <p>今回は養毛地区からの質問で、先日現地でテスト放送を行い状況を確認した。今後も、自治会長や住民の方々から聞き取りを行って対応していきたい。</p>	防災課長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
	<p>「『聞こえない』場所については」との表現があるが、「聞こえない」の範囲や基準はどのようか。</p> <p>人間の耳の機能には年齢等で個人差があるし、一番問題なのは暴風雨の時だ。「聞こえない」の基準を、年齢や、昼夜、窓の開閉等、どこに置いているのか。</p> <p>8</p>	<p>防災行政無線の一番長いストレートホーンの有効範囲が半径約500mなので、地図上で約500mの円を描き、その円が重ならない部分を難聴地域として把握しているが、周囲の建築状況や風向き、また住宅の気密性も高まっており、雨や台風の中では正確に聞こえないのが現状だと思う。そのような場合には、先の説明の通り、情報提供に基づき現地を確認し対応していくので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>防炎課長</p> <p>明確な基準は無いが、やはり窓を閉め切った状態では正確には聞こえないので、「何か鳴っている」と感じたら、安全な状況であれば窓を開けたり、他の手段を用いてご自身から情報を取りに行くことを、ぜひお願ひしたい。</p> <p>【要望】</p>	
<p>(5) 防災行政無線連絡が聞こえない</p> <p>9</p>	<p>7、8年前に小田原で大水が出たとき、防災無線は聞こえていなかった。風速10mで10ミリ20ミリの雨だと全く聞こえなくなるので、50リや100ミリのような災害級の雨の中では防災無線は機能しないことになる。防災無線の子局の増設よりも、昔あった有線放送のような屋内で情報が入るような方面に力を入れて欲しい。</p> <p>地区自治連会長、副会長には市から室内無線機が貸与されているが、同様のものを設置できればと思う。予算的に市が設置することは難しいだろうが、希望者に斡旋することはできないか。また、先日の台風の時に、テレビ神奈川で秦野市の避難準備情報が流れていたが、市民16万人が一度に押し寄せたらどうなるのか。一律ではなく、もう少し少しきめ細かな案内はできないか。</p>	<p>防災行政無線の個別受信機を自治連会長等に渡しているが、1台5～10万円と高価なもので、それを相当台数用意するのは難しい。防災無線のメーカーと交渉し安価なものを探しているが、引き続き調査・研究していく。</p> <p>防炎課長</p>	

		当日の回答		回答者	
(6) 避難所変更 要望	テーマ説明	説明項目/質問・要望等内容	東公民館から東中学校への避難所変更について	風水害時の避難所は、地域防災計画において市内全公民館(12館)に定められている。しかし東公民館は、県が指定する浸水想定区域内に所在しているため、現在、東小学校または東中学校を風水害時の避難所にするよう、学校と調整を行っている。なお、両校とも土砂災害警戒区域に隣接しており、想定外の降雨時等に安心して避難できるスペースの確保について、先日も各校の校長、教頭に意見を聞いてきた。今後、連合会長や地元の方々の声を聞きながら、可及的早期に調整が動くよう努める。	防災課長

第二部 市政全般について

		当日の回答		回答者	
第二部 市政全般について	10	説明項目/質問・要望等内容	金目川の取水堰のことで昨年と同様の質問をしたが、金目川は2級河川なので平塚土木が権限を持っていることと、いい返事がもらえていないので、伝えて欲しい。 八幡、前原、中庭地区には水田があり、しっかりと取水堰が無いと困ってしまう。また、大口の取水堰は前原と八幡の防火用水にも位置付けられ、農業、防火両面で重要な役割を果たしている。もし保守等運用面での問題があるのなら、地元と相談して欲しい。我々、生産組合で保守点検等を行いたいと考えているので、ぜひ作って欲しいということを改めて要望する。	金目川は2級河川で県管理だが、施設を作るのは市になる。農業用取水施設等の土木施設関係は、今年から建設管理課が担当することになったので、現場を教えて欲しい。	建設管理課長
	11	説明項目/質問・要望等内容	昨年4月に自治会長になり1年半やって、会社に勤めている人でも女性でも、誰でも会長ができるような環境作りが必要だと感じた。例えば、環境資源センターに年3回提出する書類や、他にも市役所に提出する書類がたくさんあるが、メール回答のように簡素化できないものか。全ての会長ができるわけではないが、できる方、できる所から進めて欲しい。また、一か所(例えば市民活動支援課)に持って行けば他の部署に渡してくれるような配慮も必要ではないか。	色々な提出物や配布物もあり、会長には負担が掛かっていると感じている。今の提案について、自治会長等とも協議し、なるべく負担の掛からない方法を検討していきたい。	市民部長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
<p>第二部 市政全般について</p>	<p>11 以前、書類を提出する際、私のミスではないのに4回も行かされたこととある。また、地区内の方から近所の苦情を聞かされ、「そのことは市役所に相談したかどうか」と言ったら、「市役所の相談室に電話したら、会長に話ししろと言われた」とのこと。今、「少し負担を軽減して」との疑問を持ったが、このような市役所の対応の現実もある。</p> <p>もう一点、私の自治会（上宿中）は自治会加入率が63%で、西田原の5つの中で一番少ない。高齢者の自治会離れや、移転してきた若い方を勧誘しても敬遠されたり、数年前には一斉に脱退したことももある。そのような中、高齢化もあり、役員選出にも苦慮している。市としては、今後自治会活動をどのように推進していくのか。</p>	<p>全国的に、高齢化、少子化や核家族化から様々な社会問題が起きている。時々電話等で「自治会に入らないうとゴミを出せなくなるのか」との相談があるが、我々は「そのようなことはない。自治会は任意の団体で加入は強制ではないので本人の判断に因るが、自然災害や色々な危険が増している状況の中で、防犯、防災について地域の皆さんと一緒に活動してほしい」と答えている。</p> <p>転居する方には住民課の窓口でパンフレットを渡したり、開発業者からも入居者に自治会加入の案内をするように指導しており、また、ホームページでの案内や、機会あるごとに話しをしている。自治会加入のメリット、デメリットのことを言われるが、もともと大きな視点で捉えるよう働きかけ、世代を超えてお子さん世代の方や、或いは地域を越えてお知り合いにも、先ほど私が言った内容を伝えて欲しい。役員は本当に大変だと思う。書類等は市民活動支援課に持ってきてもらえば担当部署に届けるので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>市民相談人権課での対応が、その場その場で違ってしまっていることが間々あるかもしれないが、基本的には皆様の生活や市民活動が豊かになるように努めているので、地域の皆様にもよろしく願いたい。</p>	<p>市民活動支援課 長</p>
<p>12</p>	<p>先日の報徳サミットで試写会があった二宮尊徳の映画に非常に感銘を受けた。来年8月に全国で上映されるとのことだが、その前後に秦野市でも上映会を行う予定はあるのか。「じんじん」のようにやってもらえるとうれしい。</p>	<p>先週の土曜日に全国報徳サミットが開催され、これは、神奈川県では小田原市と秦野市、また福島県相馬市など二宮金次郎の報徳仕法に関わりのある17市町村が集まったものである。その二宮金次郎が映画化され、先日小田原で試写会があった。来夏ロードショーがあるが、その後秦野市文化会館でも上映すべく交渉中である。まだ流動的で調整中だが、上映できた際にはぜひ来場して欲しい。</p>	<p>市長</p>

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
13	<p>防災マップを見ると、AEDの設置場所が、東地区では東田原3か所、西田原2か所、糞毛1か所、寺山5か所、名古屋5か所、落合4か所になっている。寺山には小中学校があり、東田原には公民館、落合には神奈川病院があるので多い理由は分かるが、細長く広い糞毛地区に1か所では不安だ。予算の許す限り増やして欲しい。</p>	<p>防災マップにAEDの記載があったため防災課に話したが、実際の設置については健康づくり課が担当なので、要望のあったことを伝える。</p> <p>消防本部警防対策課では、現在AEDを施設等に設置することは事業化しておらず、今後も予定は無い。警防対策課の所管事業は、救急活動事業・応急手当普及啓発推進事業など。「救命都市はたの」を掲げ、応急手当講習会を年間約140回開催し、毎年度3,000人以上が受講している。講習内容は、心肺蘇生とAEDの使用手順を説明し、訓練人形を用いて胸骨圧迫と人工呼吸を体験、訓練用AEDで使用手順を身に付けてもらうもの。</p> <p>消防本部では現在5台の救急車を運用しているが、出動件数は増加傾向にあり、平成30年中には312件で過去最高だった。</p> <p>突然の心肺停止は約75%が自宅で起きており、AEDの有無にかかわらず、直ちに胸骨圧迫や人工呼吸を行うことは、脳に発生する障害を遅らせるためにも大切で、救急車到着までに要する8分間に何もしないで行くことは、生存へのチャンスを失うことになる。また、心臓が停止している傷病者でもAEDの使用が適さないケースもあり、この場合にも可能な胸骨圧迫や人工呼吸等を、いつでも勇気をもって実施できるようにしておく必要がある。ぜひ講習会を受講して欲しい。</p>	(後日回答) 警防対策課
14	<p>先ほど企画課長から「地域まちづくり計画取組状況」の説明の中で、大日堂の特別公開を11月1日から行うとのことだったが、1日は準備のため説明する人がいなく、作業員が適当な対応をしてしまおうと申し訳ないので、ぜひ2日以降に来て欲しい。</p>	<p>市内公共施設におけるAEDは、「秦野市AED設置基準」に基づき、緊急時の速やかな提供や、適正な維持管理等を設置条件とし、近隣施設のAED設置状況も踏まえて設置している。ご要望のあった緑水庵については、日常点検等その維持管理が困難であることと、近隣福祉施設にAEDが設置されているため、設置はしていない。緑水庵に限らず、全ての公共施設への設置が難しい状況もあるため、心肺蘇生や応急手当の普及等、消防本部と連携しながら進めていきたい。</p> <p>【意見】</p>	(後日回答) 健康づくり課

第二部 市政全般について

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
15	<p>9月6日に新東名対策委員会、羽根トンネルの縦断勾配について、糞毛が低く善提が高くなったおりにトンネル内に溜まった水は全て金目川に流れてはならないかと質問したところ、ネクスコ中日本からは、どこかに貯水槽を設けポンプで強制的に葉川に排水する予定で、市と協議するとの回答だった。その後どこまで協議が進んでいるのか、今日は国県事業推進担当が来ていないようだが、分かる方がいれば教えて欲しい。</p>	<p>対策委員会の議事録で今の話の内容を確認している。基本的には山の中央より先の分は反対側に返すという趣旨で、環境保全課が所管し既にNEXCOと協議している。量はそれほど多くないとの(NEXCOの)主観もあるが、多くはなくても本来くず葉川に流れる分はくず葉川に返すように、ポンプを何個も設置する必要があるとしても、そのような措置を取るように話している。話が前後するが、実は9月6日以前にから「量が少ないから、そのまま流して良いか」との相談があり、やはり元の流れに返すように、協議した経緯がある。今後もNEXCOとよく協議していきたい。ご意見ありがとうございます。</p>	建設部長
16	<p>分水嶺等を参考に、水戦争にならないように公正に協議して欲しい。</p> <p>谷戸に、第二東名工事の影響を見るためにためにネクスコが掘った観測井戸がある。工事終了後は撤去されると聞いていたが、地権者にも存置の同意を得ているので、ぜひネクスコと交渉して欲しい。谷戸地区は、柏木市長の頃に農業改良事業として13.4haの耕地整備がされたが、現在は水不足のため田んぼから畑に転用されている状況にある。せつかく掘った井戸を将来にわたって利用できるように、所管は分らないが、よろしくお願いしたい。</p>	<p>【要望】</p> <p>観測井戸については環境保全課の所管になり、一般的には工事が終わった時点で取り外すのが原則。永久的に井戸を掘るとなると、県原にある温泉地学研究所の許可が必要で、なかなか難しいが、県に相談してみる。</p> <p>(後日回答) 新東名高速道路トンネル工事の影響により湧水を利用して農業用水に減水や枯渇が生じた場合は、NEXCOが所有するボーリング孔を代替水源として応急的に農業用水の水源とすることを事前に協議しており、現在、西田原地区はこの協議に基づいて水田に水を代入する時期の代替水源として利用を認めているところがあります。 恒久的な対策については、中日本高速道路株式会社が行っているモニタリングの結果、新東名高速道路トンネル工事の影響が確認されれば、中日本高速道路株式会社と協議して適切に対応することになっていきます。</p>	建設部長 環境保全課

第二部 市政全般について

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	<p>17</p> <p>糞毛上の中に救急車や消防車も入れずに孤立している5軒がある。数年前に「道を作る」ということで、昨年も同様の質問と要望をしたが、その後どうなっているのか。あと約100mなので、それほどお金はかからないかと思うが、作ってもらえるのか、もええなにか。どこに相談したらよいか、誰に言えば届くのか教えて欲しい。口で説明するよりも、大正12年から全く変わっていない状況を見て欲しい。</p>	<p>当該箇所は農道で、市道に認定されている道とは事情が異なる。農道に関しては環境産業部の所管だったが、4月からは建設部で道は全て管理している。現地を確認し、どのような方法があるか検討したい。</p> <p>先日、糞毛連合の会長、副会長が森林課を訪れ、建設管理課と道路管理課も含めて話しをした。結論は出していないが、金目川の土手等には私有地があり、地権者の同意を得て整備する必要がある。整備に係る費用について、人件費は出せないが材料は建設管理課から出せるとのことだった。しかし材料はあっても、糞毛上あるいは糞毛全体の力で出来るものかどうか、技術者の意見を聞きながら探っているところだ。私有地も絡んでおり、もう少し待って欲しい。自治会として必ず良い方向に進める。</p>	<p>建設部長</p> <p>自治連副会長 (糞毛連合会長)</p>